

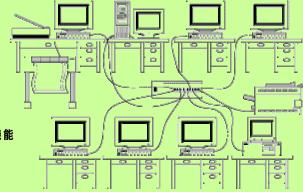
## SSS-CORE The Scalable Operating System



SSS-CORE (スリー・エス・コア)は単体マシンから1万台のワークステーションクラスタまで対応可能な汎用スケーラブルオペレーティングシステムです。職場の遊休計算機資源を高性能並列計算機として活用できます。

## 特徵

- 1. 高機能、低遅延、低オーパヘッドの汎用通信方式: MBCF
- 2.並列プログラムの多重並行処理(マルチタスク)
- 3. ノード間の負荷分散機能・タスクマイグレーション機能
- 4. ノードを越えた情報開示機構: IDM
- 5. IPsecによる外部との高セキュリティ通信
- 6.UNIXプログラムの実行・システムコールエミュレーション機能
- 7. 分散共有メモリサポート: ADSM/UDSM
- 8.共有メモリプログラム用最適化コンパイラ: RCOP
- 9. 高性能MPI ライブラリ: MPI/MBCF
- 10. 純国産オペレーティングシステム



職場の計算機群を高性能並列計算機に



並列アプリケーションのマルチタスク実行

# Application ULS (runtime) ULS (symboddeed) ADSM/UDSM MBCF+IDM SSS-CORE SSS-MC SSS-MC SSS-MC 90.5) 90.5) NS NS Hardware NS NS

MBCF: Memory-Based Communication Facilities ADSM: Asymmetric Distributed Shared Memory UDSM: User-level Distributed Shared Memory 80 S. Karnel Level Scheduler UDS User Level Scheduler 10M: Unformation Disclosure Medianism

SSS-COREの機能構成

## 動作確認済計算機

Sun Microsystems社 SPARCstation 10 SPARCstation 20 Ultra 2 (Creator, Creator3D, GX, TurboGX) Ultra 60 (Creator, Creator3D)

上記ワークステーションにおいてネットワークブートで起動 他オペレーティングシステムとのディスク共用が可能

## 研究開発元

東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻

SSS-COREに関するお問い合わせは東京大学大学院理学系研究科 松本尚(03-5841-4110,tm@is.s.u-tokyo.ac.jp)までお願いします。



SSS-COREの開発実行環境